

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法(原価法)によっている。

その他の有価証券……期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)によっている。

(2) 植物資産の評価基準及び評価方法

該当なし

(3) 固定資産の減価償却の方法

該当なし

(4) 引当金の計上基準

該当なし

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
預金				
定期預金	100,000			100,000
投資有価証券				
船井電機株式会社株式	350,658,000		5,544,000	345,114,000
メキシコ国債	194,695,424		194,695,424	0
アメリカ国債 2045	144,953,856	12,058,148		157,012,004
アメリカ国債 2028	339,492,045	26,100,136		365,592,181
アメリカ国債 2022	468,351,072	28,556,708		496,907,780
小計	1,498,250,397	66,714,992	200,239,424	1,364,725,965
特定資産				
預金				
普通預金	35,299,612		35,299,612	0
預け金				
円貨預け金	14,887,600		14,887,600	0
外貨預け金	10,671,205		10,671,205	0
投資有価証券				
外貨MMF	29,141,583		29,141,583	0
メキシコ国債		208,528,012		208,528,012
小計	90,000,000	208,528,012	90,000,000	208,528,012
合計	1,588,250,397	275,243,004	290,239,424	1,573,253,977

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
預金				
定期預金	100,000	(100,000)	(0)	–
投資有価証券				
船井電機株式会社株式	345,114,000	(345,114,000)	(0)	–
アメリカ国債 2045	157,012,004	(157,012,004)	(0)	–
アメリカ国債 2028	365,592,181	(347,312,571)	(18,279,610)	–
アメリカ国債 2022	496,907,780	(496,907,780)	(0)	–
小計	1,364,725,965	(1,346,446,355)	(18,279,610)	–
特定資産				
投資有価証券				
メキシコ国債	208,528,012	(196,056,662)	(12,471,350)	–
小計	208,528,012	(196,056,662)	(12,471,350)	–
合計	1,573,253,977	(1,542,503,017)	(30,750,960)	–

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	25,618,907
基本財産受取配当金	0
合計	25,618,907